



第 34 回九都県市合同防災訓練

第 34 回九都県市合同訓練は、9 月 1 日「防災の日」に開催されました。
今年には千葉市がメイン会場ということもあり、たくさんの方が参加しました。

私は、駅混乱防止・帰宅困難者対策訓練に参加し、帰宅困難者役として、駅利用者に対する安全処置及び情報提供訓練や帰宅困難者の一時滞在施設（千葉生涯学習センター）への誘導訓練を行いました。
参加者の中には、盲目や難聴などの障がいを持った方もいらっしゃいました。

私たちボラセンメンバーは配布された防災ゼッケンを身に着け、防災関係機関の注意の声に耳を傾けました。
11 時からの誘導訓練では、暑い中少し急ぎ足で前の人に続いて誘導員の方の指示に従い無事に一時滞在施設にたどり着くことができました。
館内では、簡易トイレなどの非常時に使う物が入った手提げをいただき、ボラセンメンバーの一部は同行していた報道陣に色々な質問をされていました。因みに、この取材内容は NHK や新聞で報道されたそうです。

実際に動いてみて、この参加者の人数の倍以上の人が一緒に避難するとなると、とても大変なことなんだなと感じました。しかし、このように多くの方が訓練を受けて避難の想定ができていれば、スムーズに対応できると思いました。
このような会を開いていただき、本当にありがとうございました。

常任支援員：1 年 豊田青波

家族で避難場所を
確認しておこう！

